

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

## 台風専門学校 Season4 を開講します

人類は「台風制御」という選択肢を持たなくてよいのか？～タイフーンショット構想～

横浜国立大学 台風科学技術研究センター (TRC) は、最新の台風研究を楽しくわかりやすく学び研究者とのコミュニケーションも取れる人気イベント「台風専門学校」を開催します。

本イベントは当センター開所以来 3 年間実施しており、のべ 2,668 人が参加。今年度は Season4 として「台風制御」をテーマに、6 月～10 月にかけて毎月 1 回、全 5 回の講義で最新の研究結果と台風制御研究 5 年間の成果をお届けします。

今年度は市民のみならずメディアの方にも積極的に参加していただき、研究者とリスクコミュニケーションの場として、取材はもちろん、ぜひ活発なご議論をいただければ幸いです。

台風科学技術研究センター (以下、TRC) では、2021 年の開所以来、一般市民向け台風講座として「台風専門学校」を継続的に開催し、のべ 2,668 人が参加しています。

Season4 となる今年度は、「人類は『台風制御』という選択肢を持たなくていいのか～タイフーンショット構想～」というサブタイトルのもと、TRC が推進し内閣府のムーンショット型研究プロジェクトにも採択された台風制御研究「タイフーンショット構想」をテーマにお届けします。

地球温暖化によって強大化すると予測されている台風に対し、その勢力を接近前に人為的に弱めることは可能なのか、また実現には何が必要なのか、気象学や数学、工学、法学など多角的な視点から、最新の研究結果と 5 年間の成果をわかりやすく解説します。ぜひご参加ください。

(日程) 2026 年 6 月 9 日 (火)、7 月 7 日 (火)、8 月 25 日 (火)、9 月 8 日 (火)、10 月 6 日 (火) [いずれも 18 時～19 時 30 分]

(開催方法) 現地 (Wework オーシャンゲートみなとみらい) とオンライン (YouTube 生配信) のハイブリット方式

(参加方法) TRC 公式サイトトップページ (<https://trc.ynu.ac.jp/>) の「お知らせ」から申込みフォームにアクセスしてください。1 限目 (6 月 9 日分) のお申込み締切は 6 月 2 日です。

本件に関するお問い合わせ先；

TEL: 045-339-3494

E-mail: [trc-office@ynu.ac.jp](mailto:trc-office@ynu.ac.jp)

(研究に関すること) 横浜国立大学 総合学術高等研究院 台風科学技術研究センター  
筆保弘徳センター長

(取材に関すること) 同センター 広報担当 竹下愛実

世界一受けたい台風の授業が帰ってきた！

# 台風専門学校 Season4

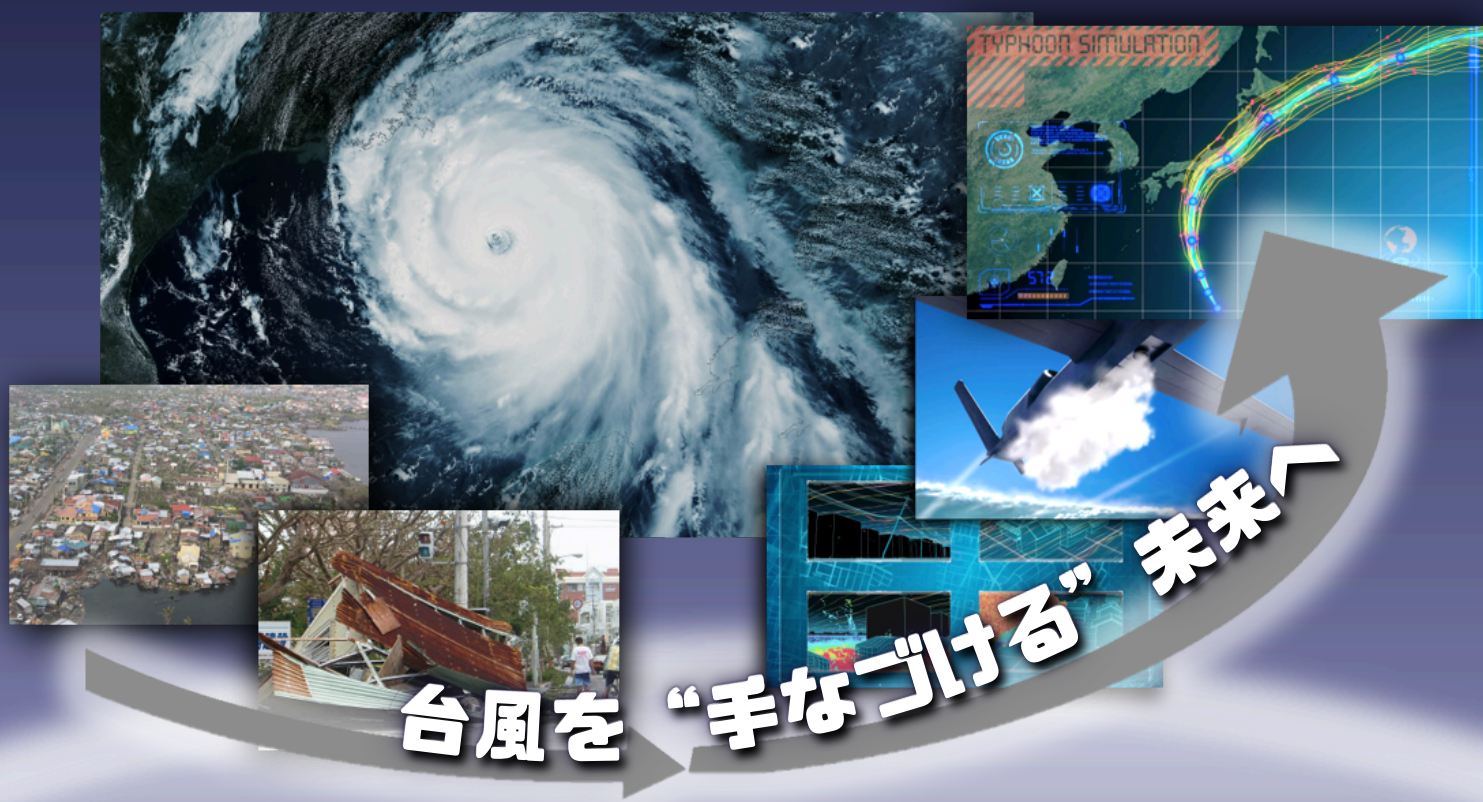
TYPHOON SHOT

人類は「台風制御」という選択肢を持たなくともいいのか

～タイフーンショット構想～

地球温暖化により、将来は強大化すると予測されている台風。もし台風が日本に接近する前に、人為的に弱めることができるとしたら…？2050年までに台風制御を可能とするために何が必要か、各分野の第一線で活躍する研究者たちが取り組む「タイフーンショット構想」。2022年には内閣府が推進するムーンショット型研究プロジェクトにも選ばれました。

人の力で自然を変えちゃってもいいの？そもそも人の力で台風を弱められるの…？皆さんの素朴な疑問に答えながら最新の研究結果とともに5年間の成果をとことんわかりやすく解説する、全5回のシリーズ講義が始まります。



## 時間割

講義は毎回火曜日18時～19時30分！

<b>1限目</b> 6月9日(火)	ストーリー 台風制御 Story	制御ができる未来とは？ 法的・社会的・倫理的視点
<b>2限目</b> 7月7日(火)	ベネフィット 台風制御 Benefit	メリットとデメリットがある！？ 被害・影響アセスメント
<b>3限目</b> 8月25日(火)	サイエンス 台風制御 Science	理論的に可能なのか？ 気象シミュレーション
<b>4限目</b> 9月8日(火)	マスマティクス 台風制御 Mathematics	数学で急所を探れ！ 介入レバレッジ
<b>5限目</b> 10月6日(火)	エンジニアリング 台風制御 Engineering	本当にできるのか？ 制御オペレーション



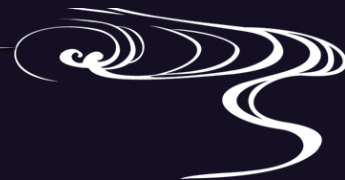
開催方法：現地（先着40名）＆オンライン（YouTube生配信）のハイブリッド開催

[現地参加場所：Weworkオーシャンゲートみなとみらい]

1限目の参加締切：2026年6月2日（火） ※参加者は1時限ごとに募集します

申込はコチラ→





## 登壇者紹介



### プロジェクトマネージャー

ふでやす ひろのり

### 筆保 弘徳

台風科学技術研究センター センター長および横浜国立大学教育学部 教授。岡山大学理学部を卒業後、同 大学院で修士課程を修了し、京都大学大学院で博士号を取得（理学）。防災科学技術研究所、海洋研究開発機構、ハワイ大学の研究員を経て、2010年に横浜国立大学教育学部准教授、2020年に教授。2021年から現職。内閣府ムーンショット開発事業の目標8プロジェクトマネージャーを務め、台風制御研究などに取り組む。

ささおか まなみ

### 1限目担当 笹岡 愛美



横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授および台風科学技術研究センター 社会実装推進ラボ所属。立命館大学法学部を卒業後、慶應義塾大学 大学院で修士課程を修了、同 博士課程を単位取得満期退学。流通経済大学法学部 准教授などを経て、2015年から横浜国立大学大学院 所属、2023年から現職。商法・会社法などを中心に現在は気象制御など新規分野における法的・社会的な課題の研究に取り組む。

もりのぶひと

### 2限目担当 森 信人



京都大学 防災研究所 教授および台風科学技術研究センター 副センター長。岐阜大学工学部を卒業し、同 大学院で修士課程を修了後、同 大学院で博士号（工学）取得。電力中央研究所の主任研究員などを経て、2008年から京都大学准教授、2018年に教授。2024年から現職（クロスアポイントメント）。台風による高波や高潮の防災・減災のほか、気候変動の予測や極端現象の影響評価に取り組む。

さとう まさき

### 3限目担当 佐藤 正樹



東京大学 大気海洋研究所 教授および台風科学技術研究センター 副センター長。東京大学理学部を卒業後、同 大学院で修士課程を修了、同 大学院で博士号（理学）を取得。これまで埼玉工業大学や東京大学、海洋研究開発機構などで大気大循環や熱帯気象、台風などの研究に取り組む。2024年から現職（クロスアポイントメント）。

いとう こうすけ

### 4限目担当 伊藤 耕介



京都大学 防災研究所 准教授および台風科学技術研究センター 台風予測研究ラボ所属。京都大学理学部を卒業後、京都大学大学院で修士課程を修了、同 大学院で博士号（理学）取得。琉球大学 准教授などを経て、2024年から現職。台風や集中豪雨など顕著な大気現象について、数値モデルやデータ同化などを用いて、仕組みの解明や予測精度向上に取り組む。

みつゆき たいが

### 5限目担当 満行 泰河



横浜国立大学大学院 工学研究院 准教授および台風科学技術研究センター 副センター長。東京大学工学部を卒業後、同 大学院で修士課程を修了し、同 大学院で博士号（環境学）を取得。東京大学の助教を経て、2018年から現職。IoTデータやシステム工学を活用した船舶の運航や造船工程の高度化や、台風発電船の開発に取り組む。

たけした めぐみ

### 司会 竹下 愛実



気象キャスターとしてNHKや民放各局で気象情報担当を歴任、台風科学技術研究センター所属。気象予報士のほか、防災士や気象防災アドバイザー、野菜ソムリエなどの資格を活かし、現在にいたるまで、学校での講演やキャリアパス教育、企業や自治体での防災研修のほか、テレビ・ラジオの出演やWebニュースの執筆など幅広く活動。

台風専門学校は、「乾杯がチャイム代わりの市民講座」として2022年～2024年の3年連続で開催され、今年は2年ぶりの再開となります。全5回のシリーズ講義ですが、1時限ずつ参加可能です。現地参加（希望者先着順）の方にはアルコールを含むフリードリンクの提供があります。ぜひ最先端の台風科学を楽しみながら“通学”してください。

開催方法：現地（先着40名）& オンライン（YouTube生配信）のハイブリッド開催  
[現地参加場所：Weworkオーシャンゲートみなとみらい]

1限目（6月9日分）の参加締切：2026年6月2日（火）  
※参加者は1時限ごとに募集します。TRCの公式X (@TRCatYNU) をフォローして  
いただくと募集情報を逃さず確認できます。

参加申込は  
こちらから

